「粉じん障害防止規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令案
 に関する意見募集について」に対して寄せられた御意見等について

令和 2 年 6 月 1 5 日
 厚生労働省労働基準局安全衛生部
 化学物質対策課環境改善室

標記について、ホームページ等を通じて御意見を募集したところ、計 5 件の御意見をいただき、うち 2 件は本件に関する御意見、残り 3 件は本件とは関係のない御意見でした。

お寄せいただいた本件に関する御意見等の要旨とそれに対する厚生労働省の考え方については、次のとおりです。

今回、御意見をお寄せいただきました方々の御協力に厚く御礼申し上げます。

番号	御意見等の要旨	件数	御意見に対する考え方
1	<p>「トンネル建設工事の切羽付近における作業環境等の改善のための技術的事項に関する検討会報告書」において、「粉じん対策に係る計画の策定 ずい道等建設工事を実施しようとするときは、事前に、粉じんの発散を抑制するための粉じん発散源に係る措置、換気装置等による換気の実施、粉じん濃度等の測定、防じんマスク等有効な呼吸用保護具の使用、教育の実施、その他 必要な事項を内容とする粉じん対策に係る計画を策定すべきである。」とあるが、車両系建設機械や移動式クレーンの作業計画のように労働者に周知したり、計画届を大臣審査や所轄署長に届け出ているならば、作った作業計画や計画届を、常時各作業場の見やすい場所に掲示等する安衛法第 101 条がかかってくる省令を付けても良い気がする。</p>	1	<p>本改正による改正後の粉じん障害防止規則においては、ずい道等の建設の作業を行う坑内作業場の切羽に近接する場所の空気中の粉じん濃度等を測定したときは、その都度、測定結果、当該測定結果に応じた改善措置及び有効な呼吸用保護具の概要等を記録するとともに、それらの事項を、常時各作業場の見やすい場所に掲示し、又は備え付ける等の方法により、労働者に周知させなければならないことを事業者に義務付ける予定です。</p> <p>このため、御指摘の事項中重要な点については、労働者へ周知することが規定されています。</p> <p>なお、労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）第 101 条の規定は、同法及びこれに基づく命令の要旨、同法第 57 条の 2 第 1 項に規定する通知対象物質に係る通知内容等の周知を義務付けたものであり、計画の周知について定めたものではありません。</p>

2	既に「ずい道等の掘削等作業主任者」となっている労働者等へ追加的に講習を受けさせる必要はないか。	本改正による改正前の労働安全衛生規則に基づくずい道等の掘削等作業主任者技能講習を修了した者については、令和6年3月31日までの間に登録講習機関が行う講習で都道府県労働局長が定めるもの（特例講習）を修了しなければ、令和4年4月1日以降、ずい道等の掘削等作業主任者として選任されることができなくなります。
---	---	--